

よりそう

Side by Side



第90号

編集責任 富岡

吉里吉里族を 追う

9月から新しく復興支援の薪作りのお手伝いが始まった。活動している全員が薪に向かい、一歩不乱に斧を振る。薪を積み上げていく様子は復興への熱い風を感じる。

今回は現在までの経緯と、ボランティアと被災者の方々の新しい関係について。薪の発端は、上閉伊郡大槌町吉里吉里の避難所にお風呂のボイラーが寄付された薪にさかのぼる。地元の方がそれを扱うため、ガレキから木を掘り出し薪を作っていた。

「これ売れるんじゃない？」
恐る恐る売ってみることにした。その名も『復興の薪田……(ネット販売、10kg/500円)』瞬く間に殺到した注文。夏の暑い昼さかり。生産に追われた8月。序外に夏用の需要が多く、手が回らなくなった。

9月7日から始まったまごころネットの飛び入り派遣、現地、大阪ボランティアとの「ろん4脚はらぬ」ろん4脚。活動初期時、作業は中々他の団体には遠い付かない。

休憩時、他の団体のテントに行くと、色んな車もしゃべった。一笑い取、そこから自陣のテントに戻るコミュニケーションを大事にした。地域とつながり、ボランティア同士とつながり、現場の雰囲気の一部は増した。

現場では宮本さんや林さんをはじめ仲間同士が声をかけあい、良い雰囲気作りを心掛けていた姿勢がとても印象的でした。復興への団結力、言うなれば未来へつながる笑いの良い意味でうるさい現場。復興への願いは、少しづつですが、現地の方々の笑顔に変わりつつあります。

記：トモオ



お知らせ

遠野に来るまでの高梁道路の無料化が延長になりました。ただし、日付けが限定され、従来より細かい区間での申請が必要となりましたので、ご利用される方は是非ともお早目の申請をお願いします。

9/16(金)ボランティアミーティングはPM15:30～@体育館
9/15(木)の宿泊：167人、活動：235人

編集担当者しみずのみなさん、ご協力

9/16(金)天気：晴れ

気温：21℃
29℃

降水確率：68%